

## 桜野小学区・第二中学区に関する学区変更案

### 1 経過

市教育委員会では、市立小中学校の児童生徒数が増加傾向にあることから、学校における適切な学習指導環境を確保するため、7月に学区編成審議会を設置し、学区域見直しの検討を進めています。

桜野小学校については、大規模集合住宅の建設などにより、平成20年度に454人であった児童数が平成30年度には924人となっています。これまで校舎の増築などの対策を行ってきましたが、引き続き高い水準での児童数の推移が見込まれ、また、学区域内に新たな大規模集合住宅の建設も計画されています(※)。

このような状況を踏まえて、学区編成審議会において、桜野小学校・第二小学校・第二中学校・第六中学校に関する学区変更案を策定しました。

**参考** ※「(仮称) 武蔵野市境二丁目計画」

- ・境2丁目22番内/住戸数130戸
- ・予定工事期間 平成30(2018)年11月～平成32(2020)年6月

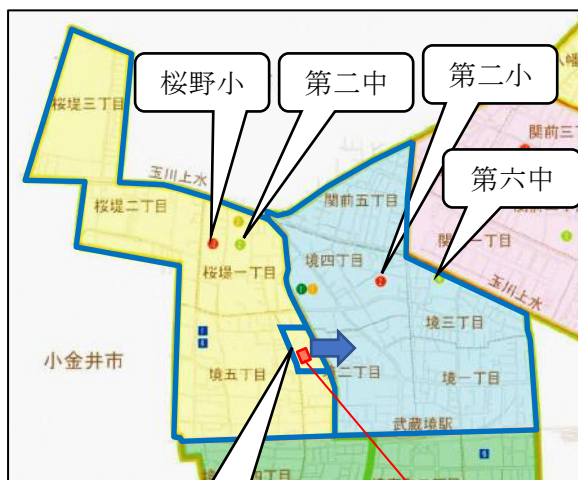
### 2 学区変更案

(1)境2丁目22番の区域を桜野小学区・第二中学区から第二小学区・第六中学区に変更する。

(2)平成32(2020)年4月1日以降の新入学者・転入学者から適用する。

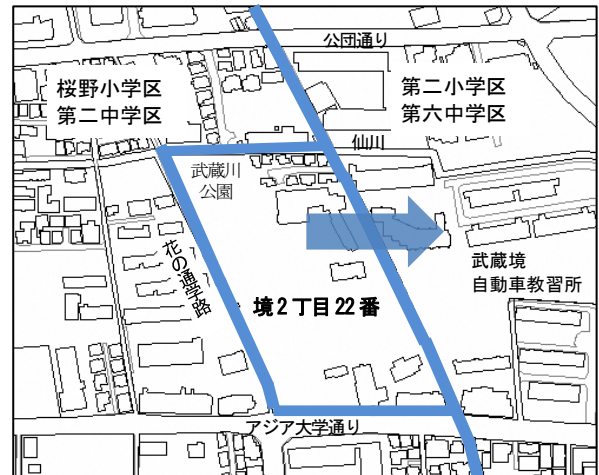
ただし、平成31(2019)年4月1日時点で境2丁目22番に居住している児童・生徒については、桜野小学校・第二中学校に入学できることとする。

広域図



変更学区域

拡大図



大規模集合住宅建設予定地

### 3 児童生徒数・学級数の推移（過去の実数と今後 10 年間の推計）

年度	児童生徒数の実数						推計										
	H20	H22	H24	H26	H28	H30	年度	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40
	2008	2010	2012	2014	2016	2018		2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028
桜野小	454	568	656	800	862	924	児童数 (変更効果)	917	905 (-13)	898 (-15)	894 (-19)	849 (-23)	807 (-28)	796 (-31)	791 (-33)	772 (-34)	757 (-33)
							学級数 (変更効果)	28	27 (±0)	27 (±0)	26 (-1)	24 (-1)	23 (-1)	24 (-1)	24 (-1)	23 (-1)	23 (±0)
							普通教室数	29 教室 (現状)									
二小	490	444	407	415	407	407	児童数 (変更効果)	397	394 (+13)	397 (+15)	413 (+19)	431 (+23)	447 (+28)	454 (+31)	469 (+33)	474 (+34)	465 (+33)
							学級数 (変更効果)	12	13 (+1)	13 (+1)	14 (+1)	14 (+1)	14 (±0)	15 (±0)	16 (+1)	16 (+1)	15 (+1)
							普通教室数	14 教室 (現状) + 2 教室 (転用可能)									
二中	259	281	285	316	356	395	生徒数	405	410	407	408	427	432	443	428	430	436
六中	276	239	248	231	198	207	生徒数	203	206	208	208	202	208	217	222	231	246

※ 表中の小学校における「児童数」「学級数」は、学区変更した場合の推計数値。

※ 表中の小学校における「(変更効果)」は、学区変更による変更効果を推計した数値。

#### 4 桜野小学校における児童増加対策の取り組み

- (1) 北校舎の増築（平成 22 年度建設。多目的室や学童クラブなどに使用）
- (2) 西校舎の増築（平成 26 年度建設。普通教室や学童クラブなどに使用）
- (3) 校舎内の改修（児童会室・教材室・生活科室・PTA 室・ホール・こぶし学級プレイ  
ルームなどを教室に転用）
- (4) 第二校庭の使用（旧桜堤小学校の校庭を体育の授業や休み時間などで使用）

※桜野小学校の児童一人当たりの校庭面積は約 7 m<sup>2</sup>。（市立小学校平均：約 15 m<sup>2</sup>）

#### 5 武蔵野市における学区変更の取り組み

武蔵野市では、市立小中学校の新設に伴い学区の変更（分割）を行ってきました。

そのほかのケースは以下のとおりです。

昭和 43 年度 大野田小学校の学区の一部を千川小学校に変更。

平成 8 年度 桜野小学校の開校にあたり、桜堤小学校と境北小学校の学区を統合。

平成 29 年度 大野田小学校の学区の一部を千川小学校に変更（平成 32 年度から適用）。

## 学区変更案の周知説明経過

- 8月23日 第2回学区編成審議会において変更案を策定
- 8月28日 第二小学校 校長
- 8月31日 第六中学校 校長
- 9月5日 桜野小学校 校長
- 9月6日 変更区域戸別訪問
- 9月7日 教育委員会定例会
- 9月7日 桜野小学校PTA役員会
- 9月7日 第二小学校・第二中学校・第六中学校PTA会長
- 9月10日 市議会文教委員会
- 9月10日 青少協第二地区委員会委員長、武蔵境自主防災会会長
- 9月11日 定例校長会
- 9月11日～周知文書配布（関係校・幼稚園・保育園の保護者・開かれた学校づくり協議会委員）
- 9月11日 市公式ホームページ・市子育て応援サイトむさしのすくすくナビ
- 9月11日 集合住宅開発事業者
- 9月12日 定例副校長会
- 9月12日 変更区域担当民生委員
- 9月12日 第二中学校PTA正副会長
- 9月13日 変更区域集合住宅周知文書配布
- 9月14日 庁内主管者会議
- 9月15日 市報9月15日号（全戸配布）・むさしのFM放送
- 9月15日 桜野小学校PTA運営委員会
- 9月19日 西部コミュニティ協議会運営委員会
- 9月21日 桜野地域防災ネットワーク運営委員会、青少協桜野地区委員会役員会
- 9月22日 教育支援課主催説明会
- 9月25日 桜野地域社協役員会
- 9月26日 桜堤コミュニティ協議会会長
- 10月3日 境福祉の会役員会
- 10月10日 桜堤コミュニティ協議会運営委員会
- 10月11日 第二小学校PTA役員会
- 10月11日 民生児童委員協議会 会長協議会

## 学区変更案に関する主なご意見と回答・対応方針

### 1 説明の際に出されたご意見と回答

	意見要旨	回答・対応方針
1	桜野小学校の児童数は減少していくが、学区変更は必要なのか。	桜野小学校は現在 900 名以上が在籍しており、教室運用や学校行事の運営に大きな影響が出ています。2回にわたる校舎の増築や校舎内の改修など児童増加対策を尽くしています。さらに桜野小学校の児童数推計が上振れするリスクも考慮すると、学区変更の必要性は高いと考えています。
2	長期的な視点から、より広い区域を変更すべきではないか。	第二小学校は児童数が増加傾向にあり、今後、新たに2教室程度は確保する必要があると見込んでいます。第二小学校の児童数推計が上振れするリスクがあることや学区変更は児童生徒や保護者、地域への影響も大きいことから、変更は必要最小限度にすべきと考えています。
3	変更区域に住んでいる子どもはいるのか。	当該区域に居住している児童は数名います。各ご家庭には戸別訪問して、学区変更案について説明をしています。
4	学区変更した後、児童数が減少した場合は元には戻すのか。	学区は児童生徒や保護者、地域への影響も大きいことから、安易に変更すべきではないと考えています。大きな状況の変化がない限り、学区を元に戻すことは慎重に判断すべきと考えています。
5	大規模集合住宅の建設を見据えた学区変更による影響はどの程度か。	大規模集合住宅の建設を見据えた学区変更により、30～40人の児童が第二小学校に通うことになると見込んでいます。
6	第二小学校の児童数の増加はどの程度か。教室数は足りるのか。	児童数推計では第二小学校の児童数は増加傾向となっています。児童数の増加により、今後2教室程度がさらに必要になりますが、2教室程度であれば校舎内の部屋を教室に転用することで対応可能です。
7	通学距離が短いことによる指定校変更は、今後どうなるのか。	学校・保護者・地域が一体となった教育環境づくりを進めるとともに、各校の児童生徒数をできる限り正確に予測して必要な教室数を着実に準備することを目的として、通学距離が短いことによる指定校変更（これまで例外的に認めていた）は順次廃止していくことをすでに決定しています。
8	審議会では、学校の校舎図面も見ても議論をしてほしい。	審議会にはできる限り情報を提供して、審議を行います。

	意見要旨	回答・対応方針
9	その他の学区の変更は検討していないのか。	学区変更は慎重であるべきと考えています。最新の児童生徒数の推計結果を踏まえて、審議会において審議を行います。
10	学区を変更すると地域にどのような影響があるのか。	地域活動団体に活動エリアを学区と合わせている場合は影響があります。例えば、青少協地区委員会は活動エリアを学区と同じにしており、その役員は当該地区内に居住する者から選出するなどの規定があります。
11	どのような地域団体に説明をしているのか。	桜野小学区と第二小学区に関するPTA・青少協・福祉の会・防災の会・コミュニティ協議会などの団体に順次説明しています。
12	この地域の福祉の会の活動エリアは、学区と同一ではないが、変更内容についてはよく説明してほしい。	境福祉の会と桜野地域社協に個別に説明を行うとともに、武蔵野市民社会福祉協議会とも情報共有しながら対応します。

## 2 パブリックコメントで提出された意見と回答・対応方針

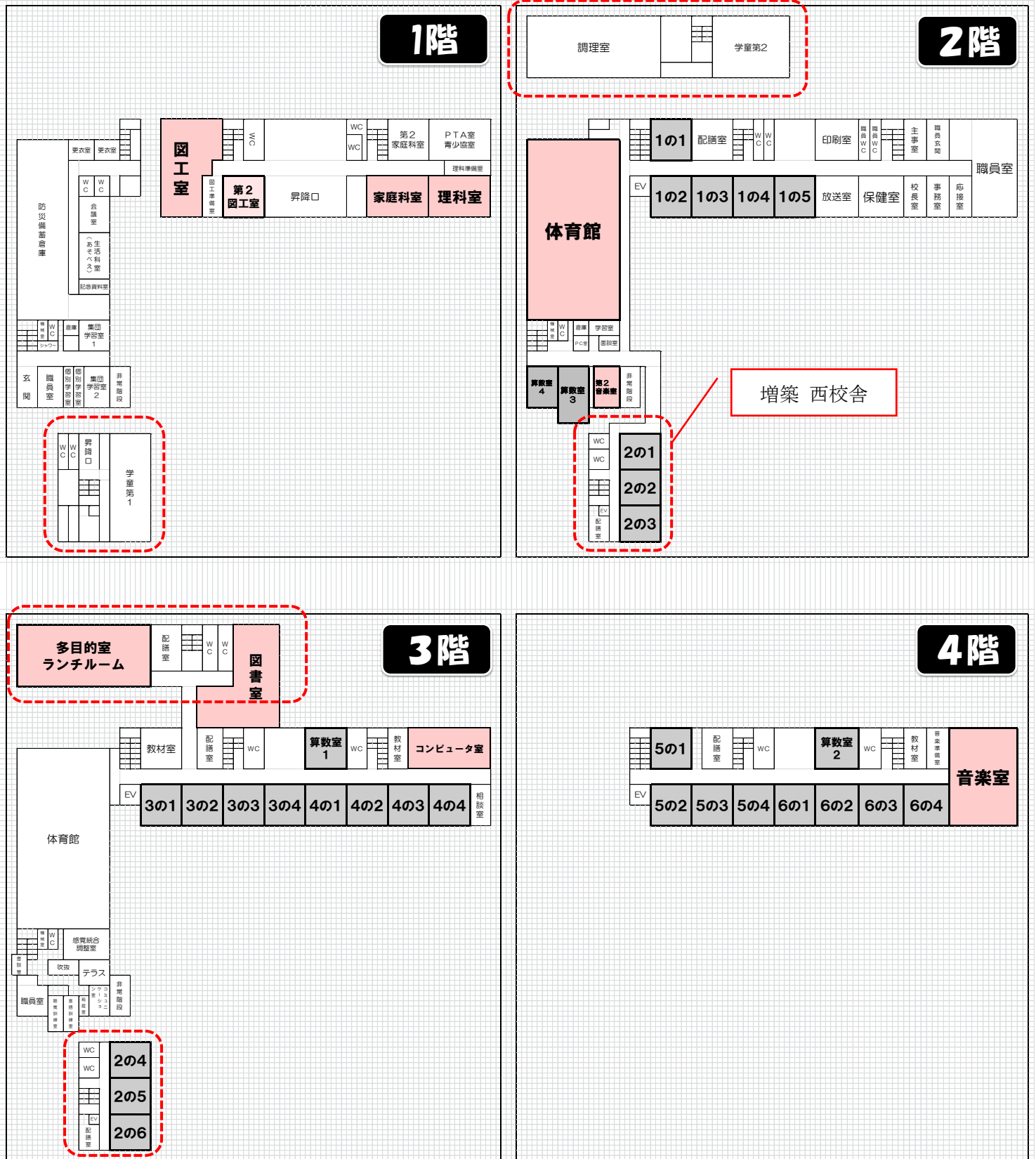
期間 平成30年9月11日～9月27日

件数 2件

	意見要旨	回答・対応方針
1	境2丁目全体を変更しない理由はあるか。 また、境界線の居住者については、選択できるようにしてはどうか。	第二小学校は児童数が増加傾向にあり、今後、新たに2教室程度は確保する必要があると見込んでいます。児童数推計が上振れするリスクがあることや児童生徒や保護者、地域への影響も大きいことから、学区変更の範囲は必要最小限度にすべきと考えています。また、本市では、学校・保護者・地域が一体となった教育環境づくりを進めるとともに、各校の児童生徒数をできる限り正確に予測して必要な教室数を準備することを目的として、居住地による指定校制度をとっています。
2	第二中学校と第六中学校は選べるようにしてほしい。	学校・保護者・地域が一体となった教育環境づくりを進めるとともに、各校の児童生徒数をできる限り正確に予測して必要な教室数を着実に準備することを目的として、居住地による指定校制度をとっています。

【参考1】 校舎図面

【桜野小学校】



一人当たりの延床面積 : 約 10 m<sup>2</sup>/人 (概数) 給食調理室・特別支援関係教室を除いて算出  
 一人当たりの校庭面積 : 約 7 m<sup>2</sup>/人 <平成 30 年 5 月 1 日現在児童数>

【第二小学校】



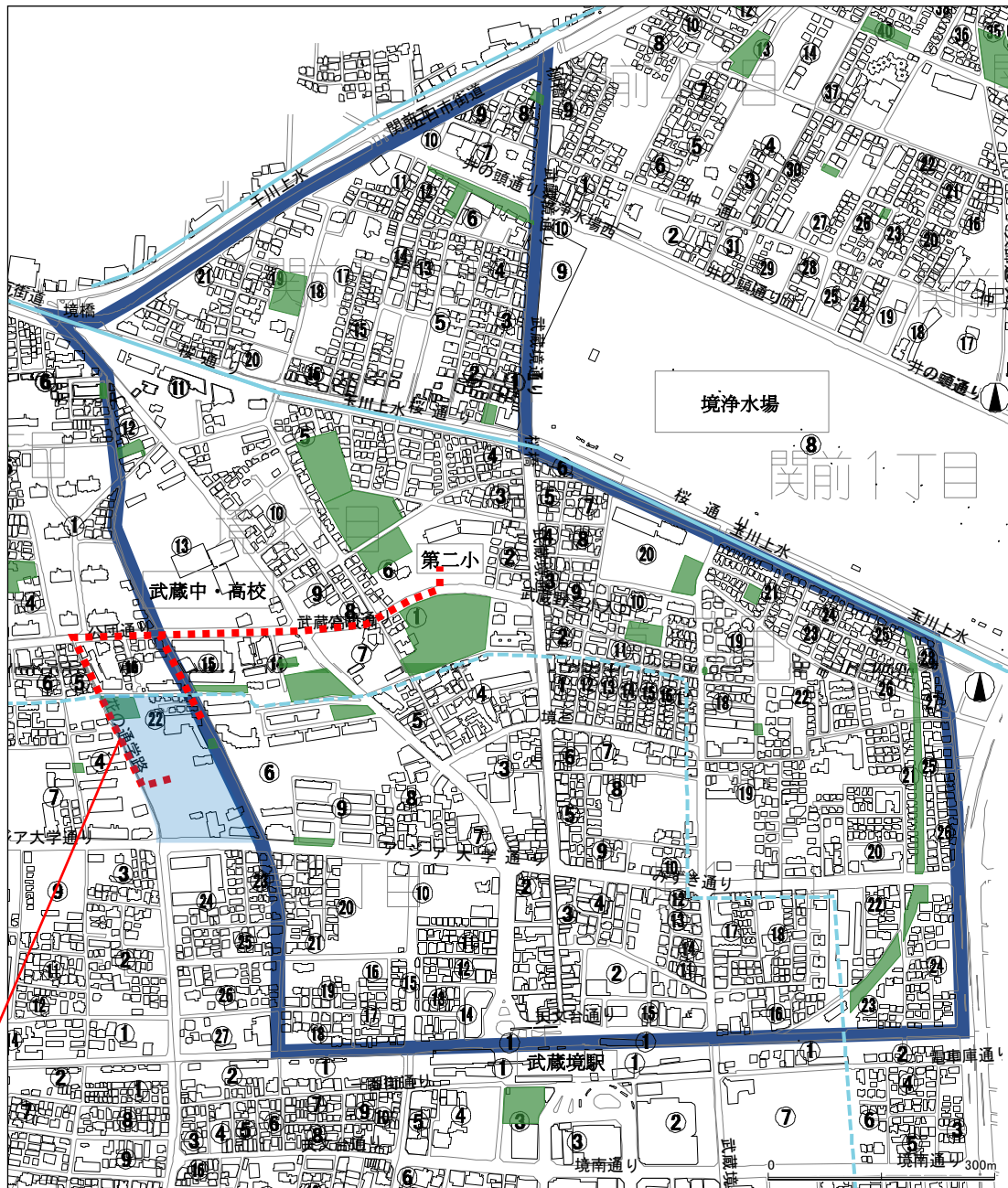
一人当たりの延床面積 : 約 14 m<sup>2</sup>/人 (概数) 給食調理室・特別支援関係教室を除いて算出

一人当たりの校庭面積 : 約 12 m<sup>2</sup>/人

<平成 30 年 5 月 1 日現在児童数>

【参考2】通学経路

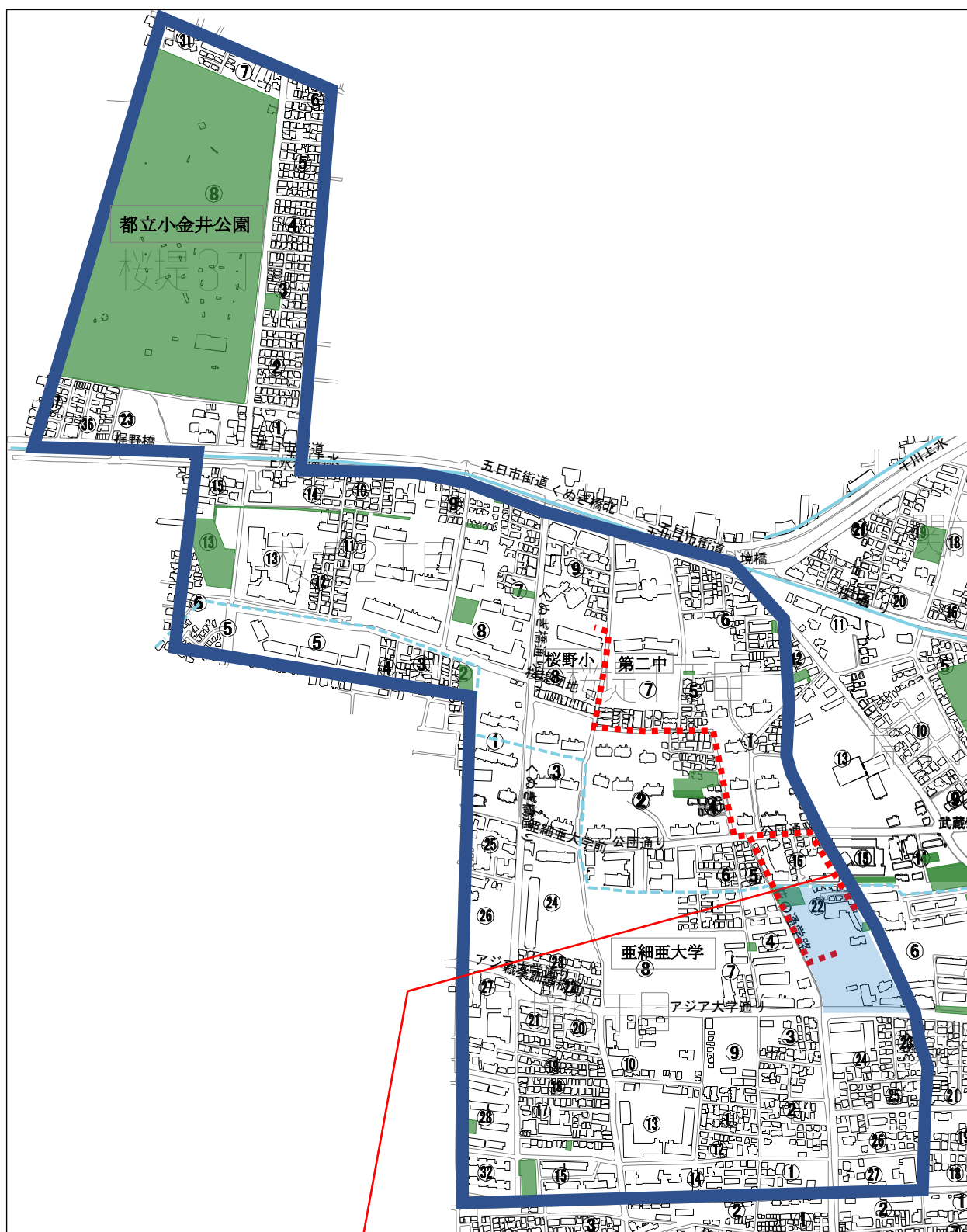
境2丁目22番区域から第二小学校への通学経路



第二小学校への通学経路の距離：約730m



境2丁目22番区域から桜野小学校への通学経路



桜野小学校への通学経路の距離：約 8 3 0 m

## 市立小中学校児童生徒数の今後の見込みと必要な取り組みについて

第六期長期計画策定にあたり実施した人口推計に、大規模集合住宅の開発予定等の変動要因を追加し、平成30年5月1日の基準人口に基づいて児童生徒数を推計しました。今後30年間の最大児童生徒数、学級数のピークの年、必要教室数、使用可能教室数、地域子ども館（あそべえ・学童クラブ）スペース確保の見込みについて、表記しました。

今後は、教室数や地域子ども館のスペース不足が見込まれる学校について、必要に応じた取り組みを行います。教室数に不足が見込まれる学校については、校舎等の普通教室への転用を検討します。地域子ども館のスペース不足が見込まれる学校については、学校敷地内・隣接地内での移転拡充等を検討します。

### 【小学校】

	2018 通常級		学級数ピーク時推計					児童数ピーク時推計			あそべえ・学童面積の確保見込
	児童数	学級数	年	児童数	学級数	必要教室数	使用可能教室数	年	児童数	学級数	
一小	421	14	2023	563	19	22	20	2025	573	18	△
二小	407	13	2025	423	15	18	17	2039	472	15	○
三小	440	14	2021	441	14	17	20	2021	441	14	○
四小	373	13	2021	400	14	16	18	2037	451	14	○
五小	432	13	2039	630	20	23	19	2048	675	20	○
大野田小	757	23	2020	762	25	29	29	2025	844	25	△
境南小	516	17	2027	770	24	27	28	2027	770	24	○
本宿小	375	12	2019	390	13	15	22	2023	411	13	○
千川小	307	12	2019	285	12	13	15	2020	288	12	○
井之頭小	495	15	2026	647	21	23	24	2048	691	20	○
関前南小	291	11	2023	440	14	15	14	2026	447	14	△
桜野小	924	27	2019	917	28	31	32	2020	919	27	○

※表中の「必要教室数」は、「学級数（普通教室数）」に習熟度別教室数と特別支援教室数を加算した数値。

※表中の「あそべえ・学童面積の確保見込」は、校舎内におけるスペース確保の見込みを表記。  
（○：スペースが確保できる見込み △：スペース不足が見込まれ学校敷地内・隣接地内での移転拡充等の検討が必要）

### 【中学校】

	2018 通常級		学級数ピーク時推計					生徒数ピーク時推計		
	生徒数	学級数	年	生徒数	学級数	必要教室数	使用可能教室数	年	生徒数	学級数
一中	272	9	2030	601	18	22	20	2030	601	18
二中	395	11	2023	427	13	16	20	2025	443	13
三中	301	9	2025	345	11	14	18	2026	355	11
四中	407	12	2020	385	12	16	22	2028	421	12
五中	237	7	2030	349	11	14	15	2031	357	11
六中	207	6	2029	254	9	11	13	2030	262	8

※学級数ピーク時推計の年は最大学級数に達した最初の年。

今後 15 年間の児童生徒数の推計（平成 30 年度実施推計）

※網掛け部分：校舎内の転用改修をしなければ、教室数の不足が見込まれる年度。

年度	H31 2019	H32 2020	H33 2021	H34 2022	H35 2023	H36 2024	H37 2025	H38 2026	H39 2027	H40 2028	H41 2029	H42 2030	H43 2031	H44 2032	H45 2033
第一小	434	476	491	524	563	572	573	550	527	509	458	437	420	405	394
第二小	397	380	382	394	407	419	423	436	440	432	444	440	445	451	456
第三小	414	423	441	434	433	415	423	417	400	406	407	414	413	412	411
第四小	383	374	400	417	423	411	414	416	411	413	420	423	426	432	438
第五小	462	479	512	526	550	582	595	604	597	609	595	590	588	588	589
大野田小	742	762	771	794	803	808	844	835	833	814	813	812	790	769	751
境南小	553	574	603	657	700	728	745	765	770	754	740	723	714	705	698
本宿小	390	406	395	409	411	400	402	393	399	391	393	392	383	373	367
千川小	285	288	272	259	261	266	266	261	256	258	252	242	239	237	236
井之頭小	502	546	573	626	634	636	657	647	646	627	629	625	615	606	601
関前南小	338	347	366	400	440	440	437	447	446	441	418	411	402	393	385
桜野小	917	919	913	913	872	835	828	824	806	790	780	789	759	732	709
小学校 合計	5818	5975	6119	6352	6497	6510	6606	6594	6532	6445	6348	6297	6193	6103	6034
第一中	305	332	377	370	403	428	464	512	537	588	598	601	588	562	549
第二中	405	410	407	408	427	432	443	428	430	436	437	416	408	411	425
第三中	293	306	325	323	322	337	345	355	351	354	335	318	316	323	330
第四中	374	386	406	406	392	380	366	390	402	422	407	396	396	399	398
第五中	213	201	238	256	277	280	311	311	331	324	353	349	357	336	330
第六中	203	206	208	208	202	208	217	222	231	246	254	262	254	258	251
中学校 合計	1793	1841	1961	1971	2024	2064	2145	2218	2281	2370	2384	2342	2318	2289	2282
総計	7611	7816	8080	8323	8521	8574	8751	8812	8813	8815	8732	8639	8511	8392	8316

※特別支援学級の児童生徒数は除きます。

（推計の端数処理により合計値と内訳が一致しない場合があります）

平成 30 年 11 月 7 日

武蔵野市教育委員会  
教育長 竹内 道則 様

武蔵野市学区編成審議会  
会長 葉 養 正 明

武蔵野市学区編成審議会答申（案）

平成 30 年 7 月 25 日付で検討依頼のあった武蔵野市立学校の学区変更について、下記のとおり答申します。

記

1 桜野小学区について

(1) 答申内容

(2) 理由

2 その他の学区について

(1) 答申内容

(2) 理由

3 審議経過

(1) 第 1 回審議会（平成 30 年 7 月 25 日）

これまでの児童生徒数の推移、平成 28 年度実施の児童生徒数の推計、学区に関するこれまでの対応、桜野小学校における大規模集合住宅の建設計画

(2) 第 2 回審議会（平成 30 年 8 月 23 日）

平成 30 年度児童生徒数の推計、桜野小学校に関する学区変更案

(3) 第 3 回審議会（平成 30 年 10 月 16 日）

学区変更案に関する周知説明結果、その他の学区に関する対策、答申案

### 【参考3】これまでの経過と今後の予定

- 7月 4日 教育委員会定例会において学区編成審議会の設置決定
  - 7月 25日 第1回学区編成審議会（児童生徒数の推移・推計）
  - 8月 23日 第2回学区編成審議会（学区変更案を策定）
  - 9月 7日 教育委員会定例会において学区変更案の報告
  - 9月 保護者・地域関係団体への周知説明  
市報・ホームページによる広報と意見募集
  - 9月 22日 学区変更案に関する説明会
  - 10月 16日 第3回学区編成審議会（審議会答申について）
- 

11月 7日 教育委員会定例会（答申報告）